

# 知っておきたい 「子どもの特性」

子どもの交通事故の多くは「飛び出し」によるものです。  
子どもの危ない特性を理解して交通安全に努めましょう！

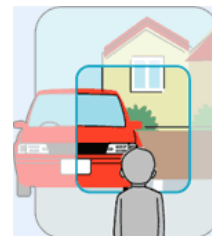


## 大人と同じようには見えていない

子どもは背が低いため、目線が低く、見える範囲も**大人の約6割**です。

そのため、高い位置にある信号や左右から近づく車が見えていないことがあります。

	大人	6歳児
上下の視野	約120度	約70度
左右の視野	約150度	約90度



## 夢中になると周りが見えなくなる



遊びやおしゃべりに夢中になり近づく車に気が付かない、ボールを追いかけて道路に飛び出すなど、ひとつのことに夢中になると周りが見えなくなります。

## 気分によって行動が変わる

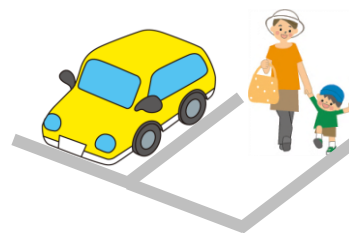


嬉しいときや悲しいときなど、そのことで頭がいっぱいになるため、行動が衝動的になります。

### 【 駐車場での注意 】

#### ① 必ず手をつないで歩きましょう

子どもは背が低いため、車の死角に入りやすく、運転手から見落とされる危険性があります。



#### ② 子どもを先に降ろさないようにしましょう



駐車場内での子どものひとり歩きは危険です。  
車に乗る時は子どもを先に乗せ、降りる時は大人が先に降りて、子どもを降ろすようにしましょう。

## 交通安全は「家庭から」

お子さんの性格や成長の度合いに合わせて、飛び出しの危険や交通ルールについて繰り返し教えましょう。

また、止まる場所や安全確認の仕方など、実際に自宅付近を歩きながら具体的に教えましょう。

